

あいめーる

平成 27 年 01 月 20 日発行
発行
社会福祉法人 愛隣園
障害者支援施設 愛隣館
発行責任者 三浦貴子
編集 広報チーム
キャリアページョン

〒861-0551
熊本県山鹿市津留 2022
TEL 0968-43-2771
FAX 0968-43-2793
http://aileans.com
E-mail
ailinkan@magma.jp

WINTER

在宅サービス特集 愛隣館通信



(写真：チーム・ベアハグ)

新風を巻き起こしました。
の高さと身体の大きさで
を獲得し、ポテンシャル
加で準優勝。賞金六万円

結果、ベアハグは初参
加で準優勝。賞金六万円
を獲得し、ポテンシャル
の高さと身体の大きさで
新風を巻き起こしました。

予選は山鹿消防署を抑
え二種目トップ通過の好
成績。決勝戦では平均年
齢のはるかに若い山鹿警
察署に、僅か五センチの
差で惜敗。
△を競います。
決勝は、三本で三百キロを超える丸太を五人で引きタイ
ムを競います。

十一月十五日(土)、十六日(日)鹿北中学校グラウン
ドにて、第三十五回かほくまつりが開催されました。
地域のお声かけにより、この丸太トライアスロン大会に
野中誠二さん(野中建設)、岩下勉さん(熊日新聞社)、福
山清一さん・清水誠一郎さん・竹下真二さん・河津実さん・
古川和代さん(愛隣館)がチーム・ベアハグで参加しまし
た。

チーム・ベアハグ準優勝



暮れから新年に思うこと



館長

三浦 貴子

元旦午前〇時 恒例の山鹿大宮神社参拝中に、今年初のショートメール振動。アール・ブリュット作家Mさんのお母様のお年始を頂き、嬉しく新年が始まりました。

昨年は、重症化されている利用者の方々の入院が相次ぎ、またスタッフの思わぬ事故や病気に、皆で心配する日々が続きました。しかし、年暮れる頃、利用者の方々はがんばり抜き、スタッフもほとんどが回復して顔を揃えることができました。そのことが本当にありがたく、感謝の気持ちでしみじみとクリスマスを迎えました。

また、十二月中旬には、地域福祉部の忘年風食会。利用者、ご家族、スタッフ総勢二二〇名で集まりました。新しい利用者やご家族の方々が年々なじんで行かれるのを見るのが楽しみです。今年は、有期限の就労移行支援事業所ぴあワークを巣立たれた方々も参加されました。

十八年ぶりでしたが、二が日、香港の親戚を訪れる旅に出て、人口の圧倒的エネルギーに打たれました。毎日一五〇人ずつ中国からの移民を受け入れ、一年に五万人ずつ(山鹿市分)人口が増えていると

聞きました。傾斜の付いた歩道は、母の車イスを押すのにひと苦労ですが、大都会ながら情緒ある、変わらずに美しい港町でした。

そして、人が少なく、緑多い私たちのまちに戻った時、これはまた贅沢で豊かな暮らしだとよぎりました。

清らかな空気の中、今年も穏やかに、一人ひとりを大切に歩いていきたいと思う新年です。

島根県出雲サンホーム研修

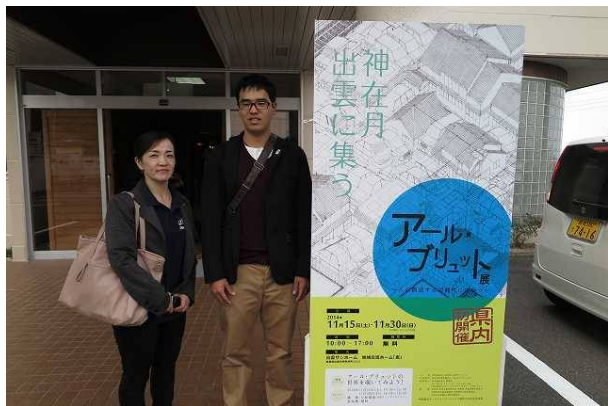
デイケア

森川 ともみ

十一月二十一日
(金) ～ 二十三日
(日)迄、島根県

出雲市にあります、障害者支援施設出雲サンホームに、理学療法士の津田さんと二人で研修に行きました。

サンホームはとても静かでゆっくりとした空間の中、ご利用者の方ものんびりと過ごされている印象を受けました。私は、ソレイユ(デイケア)にて現場実習をさせて頂いた



のですが、窓の外では併設しているサンサン保育園の園児が裸足で駆け回っており、その姿が微笑ましく思いました。送迎時は日本海に映える夕日を利用者の方と一緒に見る事が出来ました。

出雲サンホームで開催されていたアール・ブリュット展では、松本寛庸さんとも一緒に過ごす素晴らしい作品を観させて頂きました。この研修で学んだ事感じた事を今後に活かし、支援の向上に繋げていくつもりです。

出雲の地で本当に沢山の御縁を頂く事が出来ました事に感謝しております。

くまもと障がい者芸術展

デイケア

原 てるみ



十一月十八日(火)～二十四日(月)まで熊本県立美術館分館において、くまもとハートウィーク「くまもと障がい者芸術展」が開催されました。愛隣館やデイケア、愛隣倶楽部からも力作が数多く出品されました。デイケアでは、御利用日別に出品された利用者の方々と芸術展を見学に行き参りました。

出品されている、絵画、習字、詩、陶芸、それぞれに個性が出て見ごたえのあるステキな作品ばかり。障がい者芸術展を始めて見学した私は感心と

感動で心がいっぱいになりました。

今年はいケアから竹下光男様(全盲)の「夫婦かぼちゃ」が「心に残った作品」として多くの方の支持を受け、陶芸の部でハートウィーク賞を受賞。十一月二十四日に表彰式が行われました。

竹下様は「受賞したのが本当に自分なのか、びっくりしています。心の中はうれしさでいっぱいです」と微笑みながら話されました。



クロースアップ愛隣館⑫



事務・総務部

納富 久

平成二十五年四月より事務員として勤務し、日々勉強しながら仕事に従事しております。

その一方で、障害のある方の芸術活動支援団体であるアール・ブリュット パートナーズ熊本にも事務局として携わらせて頂いております。芸術活動は自分の趣味の範囲外の分野で、初めは務まるか不安

が大きいものでした。しかし、活動の中で出会う作品に癒され、人に励まされることで誇りを持って活動に取り組めるようになってきたと感じています。新たな分野での成長の機会に喜びを感じながら、今後も頑張りたいと思います。

第14回全国障害者スポーツ大会

全国障害者スポーツ大会は、十一月一日(土)から三日間の会期で、全国から都道府県・指定都市の選手団約五五〇〇人が参加し、長崎県諫早市長崎総合運動公園陸上競技場にて開催されました。

熊本県・熊本市の合同選手団員として、愛隣館から布施房子さん、松島至史さん、いケア利用者大當由奇子さんの三名が出場しました。

大会一日目は、相談員の松尾さんと理学療法士の津田さん。大会

三日目には、三浦館長とサービスマン管理責任者の田中さん、愛隣倶楽部の利用者の皆さんが応援に駆け付けてくれました。

皆さんの声援を受け、布施さんはジャベリックスロー(金)



とピンバック投げ(銀)、大當さんは、ジャベリックスロー(銀)とソフトボール投げ(銀)、松島さんは、ピンバック投げ(銅)、電動スラローム(四位)の素晴らしい成績を修められました。

いケア棟トイレ改修工事

十一月二十八日(金)より、十二月二十三日(火)におきましていケア棟のトイレ等改修工事が行われました。

新しいトイレを利用され「明るくなり、動きやすくなった」「便座が温かく、気持ちがいい」「とても使いやすい」「収納スペースの使い勝手がよくなった」など利用者、スタッフから沢山の喜びの声をいただきました。



『あいめーる』の企画・編集は利用者で構成された広報チーム、キャリアビジョンが担っています。

ホームヘルプ 短期入所（ショートステイ） 日中一時支援事業 特集

ホームヘルプ部



ご家庭を訪問して、入浴や排泄、食事などの身体介護、掃除や洗濯、食事の準備などの家事援助、通院や外出の介助、日常生活全般での見守り、生活介護上でのご相談を行います。

- ・ サービス内容
- ・ 居宅介護（家事援助・身体介護・通院等介助）
- ・ 重度訪問介護
- ・ 同行援護

営業時間 6時～22時

日曜日～土曜日

☎ 0968-43-2771

Fax 43-2793



通院等介助：通院時に車両への乗車又は降車等の必要な援助を支援します。



身体援助：居宅において、入浴、排せつ、食事等の介護を支援します。



家事援助：居宅において、調理、洗濯、掃除等の家事等を支援します。



同行援護：外出する視覚障害者に同行し、必要な援助を行います。



生活等に関する相談及び助言、その他の生活全般にわたる援助を行います。



重度訪問介護：常に介護を必要とする重度の障害者を総合的に支援します。

在宅障害者を対象にした障害福祉サービスの一つであるホームヘルプは、居宅において、入浴、排せつ、食事等の介護、調理、洗濯、掃除等の家事援助並びに生活等に関する相談及び助言、その他の生活全般にわたる援助を行います。また、必要に応じて施設を利用し、入浴、排せつ、食事、その他の必要な介護を行う短期入所事業と、山鹿市から委託を受けた市町村地域生活支援事業である日中一時支援事業があります。

短期入所事業所 日中一時支援事業所



短期入所事業は、短期間入所して施設を利用でき、必要に応じて送迎をいたします。

日中一時支援事業は、日帰りで施設利用ができます。あたたかく自由な環境の中で、日常生活上の支援や健康管理、レクリエーションへの参加、その他のサービスを行い安心して過ごして頂きます。ご家族のレスパイト(休息)としてもご利用下さい。

営業時間

24時間

年中無休

☎ 0968-43-2771

Fax 43-2793



トイレ：各号館毎、状況に応じて利用できる身障トイレが設置されています。



浴室：機械浴室以外に、一般浴室があり、状況に応じて利用できます。



居室：ハイム1～6号室までのショート専用の部屋と施設の空床が利用できます。



送迎：利用者の希望により、ご自宅と事業所間の送迎を行います。



食事：栄養・利用者の身体状況、希望や嗜好を考慮した食事を提供します。



健康管理：血圧測定・検温・体調の聞き取りを行います。



新しい仲間



入居者

平野 博秋

こんにちは、十月に愛隣館に入居した平野博秋 (六十六歳) です。

十五歳で上京して三十六年間マツダに勤務して来ました。四年前に病気になる、実家である菊鹿に帰ってきました。その後、愛隣館にお世話になってます。

東京に居た頃はよく競馬や競艇を楽しんでいました。

愛隣館に来て、まだ日は浅いですが、皆さんどうぞ宜しくお願い致します。

新人職員紹介



愛隣倶楽部

中島 恵子

八月より愛隣倶楽部で生活支援員として仕事をさせて頂いています中島恵子です。

私は、学生時代に競泳をしていて短大も体育科でした。専門は自由形です。卒業して以来、泳いでいませんでしたが、今年の六月より誘われて、マスターズの大会に出場するようになりました。県体では

五十メートル自由形で二位に入賞が出来て新しい気持ちで水泳を楽しんでいます。水泳が縁で現在、愛隣館でお世話になっております。

今までは、老人保健施設や知的障害者入所施設で働いてきました。その経験も生かしながら、一日でも早く先輩から学び、一人でも多くの方に笑顔になって頂ける支援が出来るよう努力していきたいと思えます。どうぞ宜しくお願いします。

デイケア大分一泊旅行

十月三十日(木)～三十一日(金)は、デイケア恒例の一泊旅行でした。今回は、利用者・職員、合わせて三十三名。二台のバスに分乗し、一日目は昼食を小国で済ませた後、大分県の九重「夢」大吊橋へ向かいました。高さ一七〇メートルからの紅葉は絶景でした。

その後、三時半に杉乃井ホテルに入り温泉で疲れを癒し、夕食はホテル自慢のバイキングに舌鼓を打ちました。



二日目は、九時半にホ

テルを出発、安心院(あじむ)にあるアフリカンサファリへ向かいました。バスのままサファリ内を回り、園内のレストランで昼食を済ませ、売店で土産物を購入したり、併設のふれあい動物公園を回り一時半前に帰途に着きました。

長崎一泊旅行

入居者

池田 祐美
丸目 英美枝

十月二十三日(木)、二十四日(金)長崎一泊旅行に行きました。

入居者・職員、合わせて八人で行きました。一日目は天気も良くハウステンボスでは、お店を巡り、ぬいぐるみやお土産を買いました。夜はチーズフォンデュや大葉が入ったウインナーを美味しく頂きました。

楽しみにしていた夜のイルミネーションは、川の七色のイルミネーションが綺麗でした。

二日目は、九十九島遊覧船(パールクイーン)で島めぐりをしました。

ただ一つだけ困ったことがありました。朝ご飯の移動後に車いすの調子がおかしいのでタイヤを調べると、虫ゴムが無くなってパンクをしていました。遊覧船に乗る時は、その会社の車いすを借りる事ができ、無事に島めぐりが出来ました。その際は職員の皆さんには大変お世話になりました。

昼ごはんを食べた後、楽しみにしていた佐世保バ

ーガーを買って帰りました。想像以上に大きかったことにビックリしました。大変美味しく頂きました。色んな事がありました。思い出に残る旅行になりました。

第九回九州施設交歓野球大会

ケア課

鈴木 大輔

十月二十五日(土)～二十六日(日)、第九回九州施設交歓野球大会が山鹿のあんずの丘グラウンドで行われました。



私は愛隣館チームを率いるチームリーダー。前年度沖縄大会で優勝していたので二連覇のかかった試合になりました。

参加した施設は全部で七施設。いつもより一施設少なかったのですが、楽しく二日間プレー出来たと思います。選手宣誓という大役までさせて頂き良い経験と思いができました。

結果は同じ熊本のためきな荘との決勝戦でしたが、惜しくも敗れ準優勝でした。

夜の懇親会でも他施設との交流を深めることができ、大変楽しい野球大会でした。また来年も皆と一緒に大会に臨み、結果も大事ですが、楽しくプレーできればと思います。

地域福祉部合同忘年会

十二月十五日(月)、愛隣倶楽部にて利用者とその家族・職員が集い、地域福祉部合同忘年会が開催されました。

三浦貴子館長の挨拶に続き、愛隣倶楽部ご利用の竹熊和孝さんの乾杯の音頭で和やかに会食が始まり、各テーブルでは話しが弾み笑顔の花が咲いていました。

恒例のカラオケ大会では、自慢の喉を披露され、ハーモニカ演奏や今話題の「アナと雪の女王」も飛び出し賑わいました。

また、お楽しみ抽選会では、例年の地域福祉部賞・外部講師賞(中村先生、境先生)に、理事長賞・館長賞・副施設長賞・サビ管賞が加わり、たくさんの方々が賞品



を手にされました。最後に、愛隣倶楽部ご利用の永田勝利さんが万歳三唱を行い、大いに盛り上がった忘年会となりました。

「SAKU・RUN(サクラン)」目指せ山鹿の「一番風呂」に参加して

デイケア

松永 清孝

十一月二十三日(日)に、山鹿市の市営温泉さくら湯を目指して、旧豊前街道沿いの約四百坪を駆け抜ける「SAKU・RUN(サクラン)」に坂梨幸治さんと参加してきました。



このサクランは、さくら湯の復興を祝い無病息災の願いを込めて昨年より開催されたイベントです。

サクランは、アップダウンあり、ゴール前では急カーブの難コースで、二年連続出場となる私は、ペース配分を考えながら走りましたが、三百坪位で足が上がりなくなり、ゴール手前では息があがってト

レーニング不足を実感した長い長い道のりでした。結果は、約八十人中、真ん中くらいだったと思いますが、無事完走できたことで、みなさまにも無病息災のご利益があればと願っております。来年は、もっとトレーニングを積んで参加したいです。

大庭照子ボランティアコンサート

十一月二十九日(土)愛隣館食堂にて、大庭照子さんのコンサートが開催されました。入居者の山口さとみさんは、松橋養護学校時代に大庭さんが訪問されたのが縁で親子で交流を深めてくれました。

大庭さんは、熊本市水前寺出身。フェリス女学院短期大学音楽科卒。二期会研究科を経て、ポピュラー音楽に転向。NHKみんなのうたで「小さな木の実」がヒット。延べ三千校以上のスクールコンサートに出演。キングラン童謡コンサートで全国の老人施設を訪問など、多岐にわたりの活躍中です。

今回、お母様の「是非、皆さんにも聞いて欲しい」とのご希望でコンサートが実現。

一時間半に渡りたくさんヒット曲を



(左から、山口さん、大庭様、巢山さん)

熱唱してくださいました。素晴らしい時間をありがとうございました。

法人愛隣園 クリスマスの集い



十二月二十四日(水)、愛隣館にて、クリスマス集いが開催され、入居者をはじめ、利用者や家族の方々が多数参加しました。

クリスマス一色に飾り付けをされた館内で、先ず三時半からディナーが始まりました。

三浦貴子館長の挨拶に続き、入居者の平野博秋さんと、十二月七日に挙式された生活支援員の竹下(前田)真二さんお二人による乾杯の首領。

テーブルいっぱいには並べられた豪華な料理や、シヤンパン、ワイン、そしてクリスマスケーキ等に皆さん終始笑顔で楽しまれていました。

午後六時から入居者と愛隣園の子供達によるキャンドルサーピスでセレモニーが始まりました。

館長による「クリスマスのお話し」があり讚美歌



撮影：柿山繁栄氏

(愛隣館を彩る手作りイルミネーション)

を歌った後、各施設、各グループによる出し物の披露。それぞれプロ並みのパフォーマンスで会場は大いに盛り上がりました。

アール・ブリュット 移動美術館

アール・ブリュット パートナース熊本では、福祉施設や学校、病院、ホテル、郵便局などで作品数点を展示頂く「アール・ブリュット移動美術館」を開催しています。

「アール・ブリュット」をより沢山の方に知って頂き、障害のある作家の各地での発掘をはじめ、芸術活動支援の輪が広がる事を目的としています。

愛隣館では、十二月二十二日(月)から二十六日(金)の五日間、集客室にて開催されました。



赤い羽根共同募金

玄関に設置しています「赤い羽根共同募金」の募金額が今年度は7,424円でした。十月二十四日熊本県共同募金会へ送りましたので、このご報告申し上げます。ありがとうございました。